

KANAGAWA HOHYUH CLUB  
神奈川放友会  
Newsletter



Vol. 2 No.4 Oct. 2009  
第 8 号

神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地  
ストーク伊勢佐木1番館 504 号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2009年10月1日

[ 巻 頭 言 ]

放 友 会 活 動 の 意 義

神奈川放友会 理事 早瀬 武雄

神奈川県放射線技師会創立 60 周年記念式典が開催された時に「神奈川放友会」が誕生した。設立趣意書に記載されているように「放射線技師としての生涯の仲間意識と医療界における技師職の向上改善を図るため、社団法人である神奈川県放射線技師会への協力と支援を促進することであり

- (1) 会員の情報交換
- (2) 放射線技師会運営に対する意見具申
- (3) 「21 世紀の医療と福祉を考える会」の支援

等を目的に掲げて、神奈川県内の診療放射線技師同好会として「神奈川放友会」が設立された。

発足以来、会員の情報交換を目的にした「神奈川放友会 Newsletter」を年 4 回発行してきた。又、放友会イベント企画として「環境エネルギー館」及び「キンビール工場」の見学を行った。このような事業を重ねてきた結果、会員数が 75 名（H21. 8. 26 現在）になり、会の設立趣旨が理解されつつあると思っているが、まだこの「放友会」は O B だけが参加する会であると思っ

ている方や、日本放射線技師会が「21 世紀の医療と福祉を考える会」を支援する「日本放射線技師連盟」を組織していることから、「神奈川放友会」が政治活動を行う会であると誤解されている。

神奈川県放射線技師会は定款に記載されているように県民の医療の向上に寄与するための事業をしてきたが、更なる県民医療への貢献のためには放射線技師の社会的評価、地位の向上が必要であり、医師法・診療放射線技師法等の法律改正が必要となってくる。

法律を制定、改定を進めるには、法律案の提出、発議、審議、成立の課程で政治が関与し、政党である与党が賛成しなければ法律改正はできない。多くの団体では政治連盟を作り各団体の政策を法律にさせて実現するために、国会議員の輩出、議員支援をして法律の制定又は改定を陳情しているのが現状である。

現在、放射線技師業務の専門化が進められ、各団体での認定技師制度が定着しているが、この認定技師制度を法律に明文化させ放射線技師職の向上を図ることが重要となる。

将来に期待が持てる職業にするための活動が、「21 世

紀の医療と福祉を考える会」の支援であると考えている。

放射線技師会の現状は、他の団体のように政治活動が積極的に行われる環境にはなく、選挙は「嫌いです」との反応が大多数である。私達「神奈川放友会」はこの現実を充分理解しているが、放射線技師職の向上を図る目的のために趣意書には「21 世紀の医療と福祉を考える会」の支援を明記する必要があると考えている。

今度の衆議院選挙において歴史的政権交代が起きた。国民の一票が、自民党長期政権からまだごちない民主党ではあるが、新しく変わることへの期待に託し国民の素朴な疑問、即ち「常識が通じる社会」を創るために政権を変えさせたのだと思う。政権であれ企業・団体であれ長期的になれば怠惰が生れ衰退に向かうことが通性であることを前提として、絶えず改革を重ねることで長期の政権等も生き残るのである。（その改革が何であるのか見出すことが難しいが！）

神奈川県放射線技師会には 60 年の歴史があり、放射線技師の輝かしい進歩の歴史がある。しかし、その歴史もこの世界同時不況の発生により、技師会の存在を再認識しなければならない危機的状況に至っている。医療制度改革・公益法人の見直し等、期待していた改革が現実のものになっていない。そして、一体化していた日本放射線技師会と地方の技師会が双方独立した会員組織になり、新たな組織運営を考えなければならないことになった。

今はやりの地方分権社会と同じである。地方が独立して自主的な活動をすることで、地域活性を起こすことである。神奈川県放射線技師会はこの地方独立の自主的活動として、「神奈川放友会」を設立した。

技師会会員と言う枠を外し、職能団体の枠をも外し診療放射線に関係する者が誰でも参加できる会である。この「神奈川放友会」の事業資金？はお金ではなく「会員皆さんの放射線に関する知識であり、長年積み重ねてきた人生の知力」そして技師会が「改革」「変化」をするために必要な会員からの「声を聞く会」である。

今年 11 月 17 日で創立 2 周年になる。今まで以上にこの「神奈川放友会」の存在を多くの診療放射線に関係する者に知っていただき、会員の親睦と地域社会への貢献を目指した事業を推進して行きたいと考えている。

## ペリー来航の足跡

横須賀市鴨居 村松 康久

156 年前の江戸時代末期、日本を震撼させた 1853 年と 1854 年にペリー艦隊一行が日本に上陸したのは、「琉球、小笠原諸島、久里浜、横浜、箱館（函館）と下田」でした。そして横浜村への上陸は交渉が主で、日米和親条約（1854 年 3 月 31 日）の調印後に近在を半日ほど散策したに過ぎず、江戸は条約調印後に羽田沖まで旗艦を進め、艦上から望遠鏡で眺めただけである。

ペリー艦隊の来航目的を探ってみることにする。

### ペリー 黒船来航

黒船来航は 1853 年 6 月 3 日（陽暦 7 月 8 日 嘉永 6 年）に、ペリー率いる 4 隻の黒塗りされた巨船（サスケハナ号・ミシシッピー号：蒸気船、プリマス号・サラトガ号：帆船）が、幕府が防衛線を敷く観音崎を越え江戸の内海である、相模国浦賀（神奈川県横須賀市浦賀）沖に来航した。（浦賀沖滞在は 10 日間）

今から 156 年前に、日本人漂流民（栄力丸一行）の送還を利用してアメリカは「江戸幕府」に開国を求めて、東インド艦隊司令官ペリーを派遣して来たのです。

ペリー提督には二つの大きな任務があった。艦船の保持と乗組員の安全管理。そして日本との条約締結である。米大統領国書を江戸幕府に手渡したいと要求した。

#### [ 日本に来た目的 ]

- 1) アメリカ捕鯨船の食糧、水、燃料の積み込み
- 2) アメリカ船の「難破した船の修理」や「乗組員の生命・財産」を保護
- 3) アメリカ船が寄港し、物々交換や積荷を売ることが出来るようにする

西ヨーロッパ各国は、大量生産された工業品の輸出拡大の必要性から、インドを中心に東南アジアと中国の清への市場拡大を急いでいたが、後にそれは熾烈な植民地獲得競争となる。競争はイギリス優勢のもとフランスなどが先んじており、インドや東南アジアに拠点をもたないアメリカ合衆国は、西欧との競争のためには、清を目指すうえで太平洋航路の確立が必要であった。

#### [ ジョン・万次郎 ]

実際にアメリカが、日本近海で捕鯨を目的とした操業を行っていた例として、ジョン・マンこと中濱万次郎は、高知沖で遭難し、無人島の鳥島に仲間といたところ、アメリカの捕鯨船に救助された。当時 15 歳だった万次郎は、捕鯨船の船長の養子同然となり、その後アメリカにて修学し、近代捕鯨の捕鯨船の船員となった。

しかし、望郷の念は強く、カリフォルニアの金鉱で働き得た資金により、捕鯨船を確保し、ハワイに残された土佐の中浜村の漁師仲間と共に、日本に帰るべく出航し

ている。

当時の薩摩藩琉球にたどり着いたとき万次郎は 25 歳でしたが、ペリー艦隊が浦賀に現れる 2 年前のことでした。

その後、紆余曲折はあったが、日米和親条約の平和的条約に向け、通訳やアメリカの思惑や情勢を詳しく知る者として、時には裏方として尽力した。

これら万次郎が幕府に徴用されたのは、英語話者やアメリカ力滞在者としての経歴だけでなく、アメリカの目的が捕鯨基地であり、万次郎自信がそのアメリカの捕鯨船員であったことも無視できないだろう。

ペリー提督が乗ったミシシッピー号は大西洋を南下して、喜望峰を回りセイロン島、シンガポールを経由して香港、上海、琉球、小笠原諸島に寄航し浦賀に停泊した。

#### [ 琉球来航 ]

琉球を終結地と定めたペリーは、上海から琉球を目指して出航した。日本側の交渉を成すにあたって琉球を根拠地とする為であった。

上海で巡洋艦「サスケハナ」に旗艦を移したペリー艦隊は 5 月 17 日に出航し、5 月 26 日に琉球王国（薩摩藩影響下にある）の那覇沖に停泊した。ペリーは武装解除した士官数名と共に首里城に入城して、開国を促す大統領親書を手渡した。首里城にはこの後もペリーの日本への中継点として活用された。この記録は琉球側がまとめた「琉球王国評定所文書」に詳細に記されている。

#### [ 小笠原探検 ]

ペリー艦隊の一部を那覇に駐屯させ、自らは 6 月 9 日に、6 月 14 日から 6 月 18 日にかけて、まだ領有のはっきりしない小笠原諸島を探検した。

この時、ペリーは小笠原の領有を宣言したが、即座に英国から抗議を受け、ロシア船も抗議のために小笠原近海へ南下したため、宣言はうやむやになった。

後に、日本は林子平著「三国通覧図説」の記述を根拠として領有を主張した。

#### [ 会 見 ]

ペリー提督は親書を上陸して手渡したいと幕府に要求した。この時 12 代将軍家慶は病床に伏せていた為、老



HEINE GRAPHIC SCENES  
Perry (横浜開港資料館蔵)

中首座阿部正弘は親書を受け取る結論に至った。

両者は旗艦・サスケハナ号で交渉の末、ペリー一行の久里浜（横須賀市）への上陸を実現した。

幕府は浦賀奉行与力の中島三郎助を派遣したが、ペリー側は階級が低すぎると拒否した為、高い身分の浦賀奉行・戸田伊豆守氏栄と井戸石見守弘道がペリーと会見し、大統領の親書を受け取った。

この出来事を契機に、日本は開国への道を歩み始めた。

当時日本では 1635 年（寛永 12 年）から鎖国が続いていた。外国船は中国とオランダの船以外の来航が禁じられ、貿易は長崎の出島一港だけに制限されていた。それだけに突然現れた大きな黒船に、庶民は驚き、浦賀はもとより日本中が大騒ぎになった。

幕府は将軍が病気で決定できないとして返答に 1 年猶予を通告した為、ペリーは 1 年後に再び来航すると告げて江戸を離れた。

それからわずか 10 日後の 6 月 22 日に将軍家慶は死去すると、13 代将軍に家定が就いたが、彼は病弱で国政を担えるような人物ではなかった。

老中阿部正弘はとりあえず、諸大名へ江戸湾警備を増強すべく、砲撃用の台場造営を命じた。

[ 1854年に再来航 ]

嘉永 7 年（1854 年）、ペリーは琉球を経由して再び浦賀に来航した。（ペリー艦隊は蒸気軍艦三隻、帆船 5 隻連れて一隻が加わり 9 隻で、乗組員数約 1900 人）

約 1 ヶ月にわたる協議の末、幕府は返答を出し、アメリカの開国要求を受け入れた。3 月 31 日、ペリーは約 500 名の兵員を以って武蔵国神奈川の横浜村（現神奈川県横浜市）に上陸し、全 12 箇条に及ぶ日米和親条約（神奈川条約）が締結されて日米合意は正式なものとなり、徳川家光以来 200 年以上続いて来た、いわゆる鎖国政策が解かれた。

その後、伊豆国下田（現静岡県下田市）の了仙寺へ交

渉の場を移し、5 月 25 日に和親条約の細則を定めた全 13 箇条からなる下田条約を締結した。（日米和親条約締結から明治維新までを「幕末」と呼んでいる。）

ペリー艦隊は 6 月 1 日に下田を去り、帰路に立ち寄った琉球王国とも正式に通商条約を締結させた。ペリーは米国に帰国後、これらの航海記「日本遠征記」（現在でもこの事件の一級資料となっている）を、まとめて議会に提出したが、条約締結の大役を果たしたわずか 4 年後の 1858 年（安政 5 年）に 64 歳で死去した。

その後、米国は熾烈な南北戦争に突入し、日本や清に対する影響力を失い、これらの国には結局、英国やフランス、ロシアが勢力を拡大してしまった。ちなみに、1945 年（昭和 20 年）9 月 2 日、東京湾の戦艦ミズリー艦上で日本の降伏文書調印式が行なわれた際、この時のペリー艦隊の旗艦「ポーハタン号」に掲げられていた米国旗が本国から持ち込まれ、その旗の前で調印が行なわれた。

[ 砲撃戦 ]

ペリーの「日本遠征記」によると、2 度の来航で 100 発以上の空砲を祝砲、礼砲、号砲の名目で撃っており、日本側資料には、これが大混乱を巻き起こしたことが記録されているが、いずれも被害は無く、実戦は行っていないはずである。ところが、1 月 16 日に結集した「ポーハタン」以下七隻の内、蒸気船二隻と帆船三隻が安房国（千葉県）洲崎を砲撃した、と日本側の古文書にある。

事件は嘉永 7 年 1 月 23 日（1854 年）丑の下刻、洲崎を警備する備前岡山藩陣地への砲撃であった。艦船の砲弾は陣地の手前 10 メートルほどの海中に落下した。

備前藩は非常召集を行なって大砲 5 門を以って砲撃、蒸気船二隻は逃走したが、帆船三隻に命中した。備前の守備隊は舟艇で帆船への乗船を試み、反撃を受けて 300 名ほどが死傷したが、三隻を「御取り上げ」（拿捕）した。

しかし、この事件は 2 月 1 日の記録を最後に途絶えている。また、他に一切の情報が無いために、文章の信憑性が疑われている。

参考文献

- 1) 横浜の歴史あれこれ Q&A 近代編
- 2) 横浜 開国 150 周年特集
- 3) フリー百科事典「ウイキペディア」

<http://ja.wikipedia.org/wiki>



ハイネ画「ペリー提督・将兵の上陸の図」（石版画）

# 開港 100 年から 150 年まで

氏 家 盛 通

## 1. 開港当時から 50 年まで

横浜港が開港した 1859 年当時の横浜は、現在の市域と異なるが人口 5000 人ほどの小さな集落であったという。

それから 30 年後の 1889 年（明治 22 年）には 12 万人になり市制がしかれ、50 年後の 1909 年（明治 42 年）開港 50 年を記念し現在も使用されている、横浜市章や市歌が制定された。また、多くの市民の寄付により開港記念横浜会館（現、横浜開港記念会館）が建設されることになり 1917 年（大正 6 年）に完成している。

## 2. 開港 100 年記念事業

それから 50 年が経過し開港 100 年を迎えることになる 1959 年（昭和 34 年）には、人口 126 万人の大都市になっていた。

開港 100 年の記念事業として、横浜文化体育館（5 年後の東京オリンピックでは、バレーボールの会場になる）やマリンタワー（開港 150 年の 2009 年にリニューアルオープン）などがつくられた。

これだけではなく、私の一生に大きく関わることになる横浜市立港湾病院（現、横浜市立みなと赤十字病院）が開港 100 年記念事業の一環として 3 年後の 1962 年に開院したのでした。

この病院の放射線科の責任者として横浜市立大学病院より H 先輩が移りその空席を埋めるために、私は採用され横浜市職員となったのでした。その当時は、大学病院といっても技師は、整形外科 2 名、内科 1 名、外科 1 名、放射線科 5 名で全員合わせて 9 名でした。放射線科に配属になりましたが、エックス線撮影装置 3 台のほかにコバルト治療やエックス線深部治療装置もあり、現像はバットで乾燥は洗濯バサミでの自然乾燥でした。先輩方々はすべて特例試験を受けられた方で、私が学校卒業者の最初でした。1968 年に新病院が建設され、バラバラになっていた放射線部門も中央化して、自動現像器が入り本当の後輩ができたのは 6 年後のこのときでした。

診療エックス線技師が、百万電子ボルト以上のエネルギーのコバルト治療をするのは、違法行為ということで合法的に扱える診療放射線技師法に改められました。これまでの技師は、認定講習を受けて再度国家試験を受けることになりました。この認定講習は、ほとんどが大学病院で実施され、受付や実習の手伝いをしていましたが認定され、第 2 回の診療放射線技師試験を受験し合格することができました。この会場が後に働くことになる駒澤大学でその時の受験票が最近見つかりました。

## 3. 横浜市の人口増加

横浜市の人口は、戦争のため減少していたが 1951 年（昭和 26 年）に 100 万人を超え、それから 17 年後の 1968

年（昭和 43 年）には 2 倍の 200 万人となり名古屋を抜き、その 10 年後の 1978 年（昭和 53 年）には 27 万人となり大阪市を抜いて東京に次ぐ大都市となりました。

これらの人口急増は、日本の経済復興を担う全国各地からの若者の流入によるものでした。これにより、最初に住居が、少し遅れて小学校や中学校が必要になります。

ある年の大学病院の年間予算が 100 億円くらいの時に、下水整備に 1700 億円が充てられていたのを知り驚いたことがありました。

このような横浜市でしたが、全国的に見て最も遅れているものがあり、それは人口当たりの病院の病床数で、都道府県別ではいつも下から 1・2 番でした。この当時は人口構成が若く、それ程大きな問題とはなっていませんでしたが、30 年・40 年と経過すれば市民も年をとってきます。

## 4. 公設民営の 5 病院

1973 年、横浜市ではこの人口急増に対処するために、500 床規模の病院を市内に数カ所建設する計画をたてられました。

この第 1 番目が、港南区に“恩賜財団済生会横浜市南部病院”で、1983 年（昭和 58 年）6 月に開院し地域の中核病院として貢献しております。

2 番目は、よこはま 21 世紀プランの一環として、旭区に“聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院”が 1987 年（昭和 62 年）5 月に開設し、“常に病める人の声に耳を傾け、癒すこと”を理念として、プライマリケアから高次医療に至るまでを目標にしています。

3 番目は、港北区は新横浜駅近くに“独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院”が 1991 年（平成 3 年）6 月に開院しました。労働災害や勤労者の健康管理、職業性疾患の予防とともに、市内北東部地域の中核病院として貢献しています。

4 番目は、“昭和大学横浜市北部病院”が 2001 年（平成 13 年）都筑区の港北ニュータウンの中心部に開設されました。電子カルテやフィルムレスなどの新しい方式を多く取り入れた病院として運営されています。

しかし、この病院の建設に当たっては“診療放射線技師養成施設”の併設という条件が付けられており、技師会としては大変苦慮させられたものでした。

5 番目は、長期医療計画の最後として“恩賜財団済生会横浜市東部病院”として鶴見区は鶴見川近くに 2007 年（平成 19 年）3 月に開院しました。救急医療や災害医療にも対応する、横浜市東部の中核病院として診療を開始しています。

## 5. 付属病院の移転新築

1970年代後半になると横浜市立大学医学部は、医学専門学校時代からの建物で老朽化が進み新築が必要になってきていた。設置場所の選定には、紆余曲折があったが結果的には金沢区福浦の埋め立て地に決まった。医学部が移転することにより付属病院も新築移転することになった。南区浦舟町から医学部はなくなっても、病院はそこに残すことには異論はなかったが、大学病院か市民病院か、また建物が改修して使用するか新築するか決まるまでには多くの日時を要したのです。

私の病院在職中の晩年は、浦舟地区での核医学検査室の増築・救命救急センターの新築と福浦地区の付属病院の新築と病院づくりに多くの時間を費やすことになりました。付属病院の新築に当たっては、2名の技師を建設準備室へ送り込むなどして、オーダリングシステムの採用や操作室全体をフリーアクセスにするなど、当時としては新しいものを取り入れたものでした。

昭和66年6月

開院を目指していましたが、平成に変わり1991年（平成3年）7月の開院となりました。

この当時は好景気で大型の建設事業も進んでおり、前述の横浜労災病院も日本一の高さを誇るランドマークタワーも同時であり建設作業員の確保には大変苦労されていたようでした。足りないのは作業員だけではなく、技師の確保もなかなか大変な時代で、開院前年の夏休み前には手分けして養成校廻りをしたものです。

## 6. 放射線に関わった半世紀

横浜市立大学病院には、駒澤出身の技師が非常にたく

さん働いておりました。1970年代の後半からは、実習病院としても対応しておりました。付属病院も数年が経過し順調に軌道にのり、浦舟地区の病院も新築され名称も“横浜市立大学附属市民総合医療センター”として、市民のための大学病院となってきていた、1998年のはじめ、駒澤大学（当時は短期大学）のK教授の訪問をうけたのでした。駒澤へ教員として来てほしいというもので、その任ではないと大分お断りしたのですが、ある賭けに負けて37年間勤めた横浜市を退職し、1999年4月より駒澤大学へ赴任しました。

2009年3月退職するまでのわずか10年間でしたが、学部への昇格、大学院の新設など多くのことを経験しました。病院実習は全期間、就職担当も5年間携わり、病院在職中は採用で苦労し、駒澤では卒業生の就職で苦労したものでした。私が就職したときは、前述のように横浜市立大学病院の技師は9名でしたが、退職するときは2つの病院でちょうど80名になっていました。横浜市在職中は、職員であり後半は非組合員となり、駒澤では教職員組合で同じ組合員となり、職員と教員の違いや付属高校の存在など、病院にいたのでは分からないこともたくさん経験することができました。

1990年技師の採用のため駒澤を訪問したとき、就職担当をされていたS教授は、私が赴任した1999年は学科主任で、2009年3月には同時に退職しました。

私の放射線との関わりは、1962年横浜開港100年事業の港湾病院の開院に始まり、横浜開港150年の2009年までの約半世紀で終えることとなりました。

## 技師会活動と中華街

1859年に横浜が開港すると外国人居住地区が造成され、欧米人と共に多数の中国人が来住している。また、横浜と上海・香港間に定期航路が開通すると中国人貿易商も移住し、居住地の一角に閩帝廟・中華会館・中華学校などが建てられ、横浜中華街の原型となっている。しかし、1894年に日清戦争が勃発すると、中国人の多くが帰国した。

1921年（大正11年）の資料では、山下地区の総店舗数263軒中、日本人店149軒、欧米人店79店、中国人店35軒（うち中華料理店5軒）だったのである。

更に、1923年の関東大震災でこの地は大打撃を受け欧米人の多くは帰国し、やや中国人中心の街へと変わったが、日中戦争の勃発や横浜大空襲などの悲劇で停滞期に入った。これは、近代の横浜が歩んだ道と重なることでしょう。

戦後の復興期には横浜港が賑わい香港との交流も復活し、1955年（昭和30年）に牌楼（門）が建てられてからは、これまでは南京町と呼ばれていたが、「中華街」と変わった。1972年に日中国交正常化が実現すると、横浜中華街発展会協同組合が発足して街の整備が進み、日本人が多数訪れる様になっているが、落地生根の歳月だったのである。

中華街の歴史を探してみたが、昭和34年に神奈川の地に住み着いた自分は、先輩たちからよく南京町の中華料理店の話が出て、「安くて旨い店があるぞ。こんど連れて行ってやるよ！」「南京町に行くなら順海閣だよ！」など聞いた。蒸し肉ならこの店（順海閣）、麺類ならあの店、シュウマイ・春巻きならこの店、お粥ならこの店、スープは・・・など。また、技師会の活動に参加するようになり、忘年会や会合などで中華街には何度も足を運んだ。先輩たちは、職場の良条件にめぐまれ、戦後まもなくから出入りしていたのでしょう。警友病院・掖済会病院・社会保険中央病院・市大病院・結核予防会等々の先輩たちが、仲間連れで何度となく足を運び、中華料理を肴に「技師会活動」を語り合っただろうと想像できる。1983年に4th A&A ISRRTの横浜大会は「ホテル ホリディ イン横浜」を会場にして開催されている。さよならパーティは重慶飯店別館を会場として、世界の仲間と語り合った。また、何度か横浜開催の放射線学術大会では、コミュニケーションの場はすべて中華街であった。

中華街は横浜開港と共に150年を迎えて、中華料理店が建ち並ぶ異国風の、世界一のチャイナタウンに成長している。技師会の活動発展には中華街ありで、「空腹を満足させて活力を与えてくれた場所」である。我々の先輩たちから数えると、還暦を過ぎた歳月が流れている。

T.H

# みんなの広場

がてんがゆかぬ

「ためしてがってん」

関口栄次

6月某日、NHK “ためしてがってん” で放映された中で、“胃液逆流”を予防するためには身体を逆立ちすれば「逆流は防げる」と云うことである。

これを立証するために、某病院のX線室で消化管専用X線撮影透視台（DR装置かと思うが）を利用して透視台を立位にして実験モデルの若い女性は、足台に両手をつき逆立ちとし、頭部の前に胃液のかわりにBarum(濃度 100~120w/v%、量 30~50ml 程度)をコップに入れ、ストローで吸わせ、食道から噴門部にたまるまでの過程を透視し、逆流しないことを立証させた。

勿論、医師立ち会いのもとに行われたと思うが、人体実験のモデルになった健康人である若い女性は、たまったものではない。

診療目的でない全く不必要な透視線量を腹部にあびたことである。指示を出した医師の放射線管理意識を疑うものである。“がってん”ゆきませんね！

五七五の川柳を一句

デジカメや  
フィルムないと  
さがすプロ

## 患者を間違え 放射線を照射

横浜市立大病院

(2009/07/15朝日新聞)

横浜市立大学附属病院（横浜市金沢区）は、乳がん手術後の放射線治療で、別の患者と間違えて40代の女性患者に放射線を照射する事故があった。と14日発表した。誤照射による患者への影響はないとしている。

同病院によると、誤照射は今年3

月。放射線照射室前で順番待ちをしていた40代の女性患者を呼び入れ、この女性患者の前に照射を受けるはずだった患者と間違え、放射線1グレイを照射したという。

## 無資格で診察の疑い

東京・吉原 放射線技師を逮捕

(2009/04/28朝日新聞)

東京・吉原のソーランド街で、医師の名義を借りて診療所を違法に開設し、医療行為をしたとして、警視庁が東京都台東区千束4丁目の診療所「九段セントラルクリニック」経営で、診療放射線技師河野舛男容疑者（62）＝台東区谷中＝を医師法違反などの疑いで逮捕していたことが分かった。

同庁は28日、名義を貸したとして男性医師（46）＝横浜市戸塚区戸塚町＝や、看護師ら計3人も医療法違反などの疑いで書類送検した。河野容疑者は04年以降、ソーブ街で働く女性ら延べ約2500人を無資格で診療し、2千万円以上を売り上げていたという。

浅草署によると、河野容疑者は医師免許がないのに06年5月～07年3月に計3回、女性2人に対し、性病検査のための採血など医療行為をした疑いがある。また、医師は06年12月、河野容疑者が区役所に診療所の届けを出す際、勤務実態がないのに開設者として名義を貸した疑いがある。

走者関係者によると、河野容疑者は、医師に月15万円の報酬を支払っていた。

若田さん

国際宇宙ステーション(ISS)滞在中の放射線の影響

(2009/07/01 朝日新聞より概要)

ISSに滞在中の飛行士は1日1ミリベットの放射線を浴びる。宇宙航空研究開発機構は生涯に浴びる放射線量の上限を飛行士ごとに決めていて、若田さんの場合は900ミリベットの

月延びて約30ミリベットの増えるが、以前の飛行を含めても上限の6分の1程度。

若田さん滞在、1ヶ月延長の影響<宇宙放射線>

1ヶ月分多く浴びる

0.05	胸部エックス線1回
0.2	東京-NY 航空機往復
1	ISS 滞在1日
2.4	地上で日常生活1年
6.9	胸部CT1回
30	ISS 滞在1ヶ月
50	放射線業務従事者の年間限度
100	ISS 滞在3ヶ月半
130	ISS 滞在4ヶ月半
900	若田さんの生涯制限値

## <筋力>

初めの数週間で一気に落ちるが、その後は運動量とだいたい釣りあう。

骨粗鬆症の薬は6ヶ月分用意していった。筋肉は初めの2~3週間で2割ほど減るが、その後は運動量次第。若田さんは毎日2時間きちんと運動しており、1ヶ月延びても保持できそう。それでも帰還時は60代並みの筋力で一気に20歳も年をとると同じ。回復に数ヶ月は必要だ。

## 県放射線技師会

第2回事務所将来計画委員会開催

第2回の委員会が平成21年7月15日(水)に、神放技事務所504会議室で開催された。

第1回の会議内容の確認と共に、再度の事業推進の意義や目的等を再評価する熱心な検討が行われている。

委員会の出席者は次の通りでした。

- 委員長 高橋 喜美
- 副委員長 上前 忠幸
- 委員 安部 真・仙台真紀夫
- 草柳 伸彦・川又 郁夫
- 坂野 建治

相談役 長谷川 武・早瀬 武雄  
事務所拡張の是非や目標の構築について、予定時間をオーバーしての討議がつづいた。

## 平成21年度 神奈川県診療放射線技術講習会

神奈川県主催の恒例となっている「診療放射線技術講習会」平成21年度プログラムが発表された。積極的に参加されて、診療放射線技術の資質向上を図ると共に、レベルの高い県民医療を担うべき義務が求められています。

中身の濃い充実した内容と、品格のある講習プログラムが企画されていますので、是非参加して下さい。

県民に信頼される社会貢献と医療技術者の環境の改善を発展させるためにも、生涯教育の一環として参加され、もう一步の研鑽努力に汗を流して下さい。診療放射線技師としての品格のために、身近らの資質向上を図りましょう。

[主 催] 神奈川県地域保健福祉課 [後 援] 横浜市健康福祉局健康事業課 [会 場] 横浜市西センター

開催日	9:30	午 前	12:00	13:00	午 後	16:00
平成21年 9月20日 (日)	開 会 式	「医療経営」 ・病院マネジメント 多摩大学総合RM 研究所研究員 上前 忠幸 ・医療費原価から見る設備投資 東海大学医学部附属八王子病院 川又 郁夫		「胸部CT 検査技術」 ・検査に必要な胸部画像解剖学 北里大学病院 埴 宏典 ・胸部CT 検査に於けるプロトコール 国際親善総合病院 印南 孝祥 ・異常陰影の見付け方～X-P とCT 画像 東海大学医学部附属八王子病院 飯塚 芳弘		
10月11日 (日)		「乳腺領域」 ・乳がん検診から治療まで 横須賀共済病院乳腺外科 浜口 洋平 ・乳がん認定看護師としての活動 横須賀共済病院乳がん認定看護師 安藤 梢 ・乳がん化学療法について 横須賀共済病院薬剤師 小島 英子		「超音波検査の新しい技術」 ・造影超音波検査 聖マリアンナ医科大学病院 岡村 隆徳 ・自動式乳房超音波検査 聖マリアンナ医科大学病院 桜井 正児		
11月8日 (日)		「ターミナルケアにおける患者の対応」 社会福祉法人 日本医療伝道会 衣笠病院 ホスピス師長 鈴木 由美子 「アルコール依存症について～あなたは大丈夫？ 本当は多い 隠れアルコール依存症～」 (財) 横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 総合ケアセンター室長 松尾 ゆかり		「消化管撮影」 ・消化管撮影におけるリスクマネジメント JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院 医療技術部放射線室 長岡 学 ・見逃し症例からの反省点 (財) 神奈川県労働衛生福祉協会 総合健診センター一部長 本田 今朝男		
平成22年 1月24日 (日)		「核医学」 ・SPECT-CT の有用性 (精度 定量性向上に関して) 北里大学病院 菊池 敬 ・骨疼痛緩和療法メタストロン注、 センチネルリンパ節検査 横浜市立大学附属市民総合医療センター 服部 太郎 ・呼吸制御収集によるPET-CT 横浜市立大学大学院 医学研究科准教授 立石 宇貴秀		「放射線治療」 ・最近の肺がん治療 県立がんセンター 放射線治療科 部長 中山 優子 ・当院における体幹部定位放射線治療の実際 大船中央病院 放射線科 須藤 泰信 ・体幹部定位放射線治療における問題点とその対策 北里大学病院 放射線部 江川 俊幸		
2月21日 (日)		「救命救急における画像診断」 ・病の沙汰も検査しだい 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 画像診断部医長 松本 純一 ・外傷診療における救急撮影認定技師 横浜市立大学附属市民総合医療センター 米田 靖		・肝臓領域の画像診断におけるMRI 北里大学医療衛生学部医療工学科 助教 尾崎 正則 ・当院におけるEOB・プリモビスト検査の実際 1.5T装置を使用して 横浜榮共済病院 高橋 光幸 ・3.0TにおけるEOB検査 肝細胞造影相を中心に1.5Tとの比較 東海大学医学部附属病院診療技術部 放射線技術科 堀江 朋彦	閉 講 式	

## IAEA 事務局長に天野之弥氏が当選

国際原子力機関(IAEA)の次期事務局長に、日本人が初めて就任する。去る7月2日に行われた35理事国による事務局長選挙で当選したので、9月の年次総会で正式承認され12月1日に就任することになった。

7月3日のテレビ・新聞は「核の番人のトップに天野氏、初めて日本人が就く」と、トップ報道された。

原子力の平和利用推進と軍事転用防止を目的とした国際機関の要「IAEAのトップ」に、日本人が就くのである。

唯一の核被爆国である日本から、「核の番人」のトップとして就任するので、その手腕が期待される。

「核のない世界」をめざすとした、今春のオバマ米大統領演説を受けて、核拡散防止の具体策が出始めているように思う。アメリカの支援があったものと思うし、7月6日クレムリンでオバマ大統領とメトベージェフ大統領の首脳会談が行われ、核不拡散条約(NPT)などが話し合われて、歴史的なこととして歓迎されているのもその一つである。

一方、原子力の平和利用はあらゆる国の権利であり、IAEAは核物質が軍事転用されないよう「査察のプロ」として、その使命を果たすべく活躍して欲しいものである。

日本政府としては「核のない安全な世界を」という訴えは響いたが、まだ言葉に過ぎない。これを実績にするのが役目であろう。そのトップの任務は重いが、「唯一の被爆国・日本から来た人間として核兵器の拡散を防ぐために全力を注ぎたい」と語る天野氏は、あくまで国際機関のトップであり、日本を代表するわけではないので、日本政府の責任ある支援体制が求められる。

天野之弥(あまのゆきや)

東大卒、72年外務省入省。軍縮不拡散・科学部長などを経て、05年8月から在ウィーン政府代表部大使。同年10月から1年間、国際原子力機関(IAEA)理事会議長(05年IAEAがノーベル平和賞を受賞、その授賞式にエルバダイ事務局長と出席した)。07年に核不拡散条約(NPT)再検討会議・準備委員長を務めた。

(参考資料:朝日新聞・毎日新聞・神奈川新聞)

放射性医薬品の原料「モリブデン99」が輸入難に  
放射性医薬品テクネツウムを得るジェネレーターの原料、「モリブデン99」の供給がピンチに陥っている。

100%輸入に頼っており、主要輸入先のカナダの原子炉がトラブルで、年末までの長期間生産できない為である。

モリブデン99はカナダ、オランダ、南ア、ベルギー、フランスの5箇所の原子炉で、世界の需要の90%以上が生産されている。特にカナダは世界の1/3を生産するが、事故は、原子炉が重水漏れを起こしている。

この事故で、核医学検査に支障が起き始めている。

## 総合防災センター見学と伊勢原大山巡り

「かながわ防災フェア2009を体験して  
大山の景観を楽しもう」

1. 日時 平成21年10月18日(日)9時~15時
2. 場所 ・神奈川総合防災センター  
厚木市下津古久  
・ニュー天野屋(昼食)  
伊勢原市西富岡  
・阿夫利神社下社(あふり)参拝
3. 集合 小田急線愛甲石田駅前(相鉄線は海老名経由)  
9時10分
4. 費用 3500円(昼食代、入浴金)  
500円(旅館→大山ケーブル駅バス代)
5. 募集 20名位
6. 行程 愛甲石田駅(9:17発)→防災センター  
→伊勢原駅→伊勢原温泉(昼食休憩)  
→大山(おおやま)ケーブル駅  
→阿夫利神社→大山ケーブル駅→バス  
→伊勢原駅・解散(15:12着)

◎参加希望の方は神奈川放友会事務局(神奈川県放射線技師会事務所内)(045-681-7573)又は神奈川放友会役員まで連絡して下さい。

- \* 「かながわ防災フェア2009」は、来場者が多数いらっしゃいますが、防災について楽しく学べます。
- \* 伊勢原温泉では入浴も出来ます。

かながわ防災フェア2009



昨年の写真



大山阿夫利神社

共 催 : 神奈川放友会・地域放射線技師会連絡協議会  
後 援 : (社)神奈川県放射線技師会

★ 編集後記★ 開港150周年を祝い学びましょう。  
衆議院選挙を経て、9月16日の特別国会で民主党政権が誕生しました。鳩山由紀夫内閣が成立して、日本は新しい時代感覚を迎え、変革が進んでおります。  
我々の業界も追随出来るよう、組織を育てましょう。